2015.05 / Vol. 24 / Soccer Journal　デュッセルドルフ生活を楽しくするマガジン

フォルトゥナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version

ありがとう、ルンピー！！

DANKE „LUMPI“

「熱狂を呼び起こしたい(クラマー新監督)」

BEGEISTERUNG WECKEN

選手インタビュー ミヒャエル・レンジング

INTERVIEW MIT MICHAEL RENSING

折り紙・書道教室

KIDS CLUB: ORIGAMI UND KALLIGRAPHIE

BUNDESLIGA

HITACHI
Inspire the Next

電気は眠らなくても
だいじょうぶなのかな？

そんな素直な疑問の中に、きっとヒントは隠れているはず。
だから日立は、既存の発想にとらわれない、新しい答えを見つけたい。
たとえば、膨らむいっぽうの都市の電力需要。
私たちはこの難題を解くために、電力消費の最適化や、
電力の安定供給をインフラ全体から考えていく。
スマートグリッド、再生可能エネルギーや火力の高効率発電、送配電システムなど、
先進のITを駆使した電力インフラが今、世界で稼働しています。
エネルギーをまとめて効率化する。それが、日立のめざす社会イノベーション。
未来はいつだって、見たこともないアイデアを待っているのだから。

social-innovation.hitachi.com

SOCIAL INNOVATION
IT'S OUR FUTURE

フォルトゥナは特別なクラブ

Fortuna ist ein besonderer Verein

FC GATZキャプテン 栗原 正直
Masanao Kurihara, Kapitän der japanischen Hobbymannschaft FC Gatz

フォルトゥナを応援する皆さんこんにちは。私たちFCGATZ(ガッツ)は、デュッセルドルフとその近郊在住の日本人を中心として活動するホビーサッカーチームです。チームの誕生は1976年に遡り、日本人プロサッカー選手1号となった奥寺選手も参加するなどし、今のチームの基礎が築かれました。現在は練習の他、各種大会への参加、ドイツ人チームとの交流試合、オランダ・ベルギー・フランスなどの隣国への遠征活動もしています。

そんな私たちにとって、やはりフォルトゥナは特別な存在です。根っからのサッカー好きが集まるガッツでは、「今年は昇格するかな？」「今シーズンは日本人選手来るといいなぁ」と、練習前などに自然にコミュニケーションの一部として雑談をしています。ドイツサッカーは地元に根付いているとよく言いますが、私たちも気づかぬうちにフォルトゥナのファンになっています。ブンデスリーガ1部復帰を祈念し、ガッツもスタジアムに足を運んで応援していきます。

私たちは去年10月に、モンタークスクラブというフォルトゥナのOBチームと交流試合をさせていただきましたが、結果は1－6と元プロの洗礼を浴びてしまいました。お腹は少し出てきているもの、随所に見せる技術、1対1で対面した時の強さ、そしてなにより良くサッカーを熟知しており、力の入れるところと抜くところを心得ているなという印象を受けました。このような機会を与えてくれたことに感謝するとともに、是非リベンジ戦を申し込みたいなと企んでいます(笑)。

フォルトゥナはプロのトップチーム、ガッツはアマチュアホビーチームとカテゴリーは全く異なりますが、同じデュッセルドルフを本拠地として活動するチームとして応援していますし、また今後も交流を継続できれば幸いです。そしていつか、エスプリアリーナでフォルトナ対ガッツの試合が実現出来れば･･･それは夢のまた夢の話ですが。フォルトゥナを応援しています！負けるな、フォルトゥナ！！頑張れ、フォルトゥナ！！！

Impressum

Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Flinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta (japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski
(www.derlewan.de)

Druck 印刷:
Clasen GmbH

激動の後半戦

Eine ereignisreiche Rückserie

前半戦を6位で折り返したフォルトゥナだったが、ウィンターブレイク明けの3試合でカールスルーエSC戦に引き分けた後、2連敗を喫してしまったことを受け、オリバー・レック監督の解任に踏み切った。後任には、U23チームを率いていたタスキン・アクソイ氏が監督代行として指揮を執ることとなった。

ウィンターブレイクを前に、主力選手に数人の怪我人を出してしまったフォルトゥナは、9試合で勝ち点11点しか獲得出来ていなかったが、ウィンターブレイク中には怪我人も復帰し、しっかりとチームを作り直して後半戦の再開に備えていた。しかし、再開後最初のカールスルーエSC戦で引き分けると、続くエアツゲビルゲ・アウエ戦と1.FCニュルンベルク戦に連敗してしまったことを受け、レック監督の解任を決断し、チームに新しい刺激を与える選択をした。そしてその任務を、U23チーム監督のタスキン・アクソイ氏に託すこととし、アクソイ監督代行が第23節のハイデンハイム戦からチームを指揮することとなった。

重役を担ったアクソイ監督代行は、早速チームに新しい刺激を入れるべく、若手選手の起用を行なっていく。まずは長期離脱から復帰し、コンディションを上げてきたイラス・ベブー(20歳)がスターティングデビューを果たし(VfLボーフム戦)、その後ブンデスリーガ2部初ゴール(FCインゴルシュタット戦)を決めると、更なる怪我人が出たこともあり、U23チーム所属の21歳トリオ(マーヴィン・アジャニ、モリース・プルンクテ、カーン・アクチャ)が次々にトップチームデビューの機会を掴む。しかしチームは前期の勢いを取り戻すことが出来ず、勝ち点を積み重ねられない試合が続くこととなった。

シュルテ強化部長もクラブを去ることに。

Sportvorstand Helmut Schulte wurde freigestellt

フォルトゥナの後半戦の大失速は、多くのファンからクラブへ大きな疑問を投げかける結果となった。そして第32節で最下位に沈むVfRアーレンに0-2で敗北したことを受け、フォルトゥナはヘルムート・シュルテ強化部長の解任を決定した。

レック前監督がチームを去り、アクソイ監督代行が指揮を執る中で、来季からフランク・クラーマー氏が新しい監督になることが発表となった。しかし、今季限りで契約満了なる選手たちのうち、オリバー・フィンク、ミヒャエル・レンジング、アクセル・ベリングハウゼン以外がクラブを去ることが次々に発表されると、チームのパフォーマンスもシンクロするように低下してしまう。そして6試合勝ち星がないまま最下位のVfRアーレンに敗れた第32節がターニングポイントとなり、5月11日に監査役会を経て、シュルテ強化部長が解任されることとなった。フォルトゥナにとっては誰もが望まない展開となってしまったが、来季を見据え、一刻も早い決断が求められた中での最善の選択となった。

ありがとう、ルンピー！！

Danke „Lumpi“!

アンドレアス・ランベルツ(30歳)が、シーズン終了後にフォルトゥナを去ることを決断した。来季に向け、クラブ側と話し合いを進めてきたが、最終的には契約延長のオファーを断り、他のクラブでの選手として新たな挑戦を求めていくことを選択した。フォルトゥナはこの決断を尊重すると共に、選手としてのキャリア終了後に、再びフォルトゥナに別のポストで戻ってくることを約束した。

„ルンピー“の愛称で親しまれてきたランベルツは、2003年にU19チームからトップチーム昇格を果たし、その後307試合に出場、フォルトゥナのために40得点を挙げてきた。同じクラブで4部リーグから1部リーグまですべてのカテゴリーでプレーをし、すべてのカテゴリーで少なくとも1得点以上を挙げるという快挙を成し遂げた選手でもある。

この数週間、フォルトゥナとランベルツの間で何度も話し合いの場が設けられ、これからのことについて話し合われた。そして最終的には、ランベルツ本人が選手として他のクラブでの新しい挑戦をすることを希望したため、フォルトゥナはその決断を尊重することとなった。その上で、選手としてのキャリア終了後にはフォルトゥナへ戻り、ユースアカデミーで指導者としての道を歩むことで合意に至った。

ランベルツはフォルトゥナを通じ、「僕はこのクラブを去るという決断を下したが、それは苦渋の決断でもあった。それはもちろん、フォルトゥナと長期に渡り素晴らしいときを過ごしてきたわけで、その間には多くの成果を共にしてくることが出来たからだ。それまでのことに関し、多大なる支援や応援をしてくれたファンやサポーターの皆さんには、この場を借りて心から感謝を申し上げたい。その上で僕は自分の将来を見据えたとき、まだベンチ要員には若すぎる年齢だと思うし、まだまだ十分にトップコンディションでプレー出来る。だからこそ、他のクラブでの挑戦を選択するという決断に至った。ただし、僕は選手としてのキャリア終了後、必ずこのデュッセルドルフに戻ってきて、新しい仕事に従事することを約束する。フォルトゥナは僕にとってはいつまでもmeinVerein(ボクのクラブ)だ。」と、多くのファンやサポーターに感謝の意を表明した。

「熱狂を呼び起こしたい。」

„Begeisterung wecken“

2015年04月15日、フランク・クラーマー氏が来季からフォルトゥナの監督となることが正式に発表された。ディルク・カル会長らが同席する形で、記者会見が開かれ、クラーマー氏が来季への決意を語った。

2月にオリバー・レック前監督が解任となってから、今季のフォルトゥナはアクソイ・タスキン監督代行が指揮を執ってきた。一方では平行して来季からの監督探しが進められ、その結果、今季途中までグロイター・フュルトを率いていたフランク・クラーマー氏と、来季からフォルトゥナを率いることで合意に至った。カル会長は記者会見の冒頭で、「若く、経験のある監督経験者」という条件の下に後任者探しを進めてきたことに言及し、クラーマー氏がその適任者であることを強調した。

続いて挨拶をしたクラーマー氏は「まず、新しい挑戦が出来ることを非常に嬉しく思っている。フォルトゥナ・デュッセルドルフは非常に伝統のあるクラブで、ここは素晴らしい街だ。また、近い将来に我々の共通の目標である素晴らしい結果を出せることを願っているし、そういう環境下で仕事が出来ることを嬉しく思っている。多くの人がこの目標達成を望むのであれば、それに見合ったサポートが必要になるもので、そういった熱狂を呼び起こすことにトライしなくてはならない」と決意を述べた。クラーマー氏は、これから来季からの新チームに向けた構想をじっくりと話し合いながら作り上げていくことになる。

NIKKO MEET ALL DAY **パッケージ**

会議場、標準の技術設備、お水とリンゴジュース
飲み放題、軽食付きコーヒーブレイク2回
3コースランチ、ロビー常設コーヒー ステーション
無線LANのご利用（参加者全員）
お一人様 **59ユーロ~**

上記が全て含まれたお得なパッケージです！

デュッセルドルフへようこそ。

12の宴会場

総面積**1500m²**

最大収容人数**400**名

2013年の総改装

市の中心にある理想的な立地

550台の地下駐車場

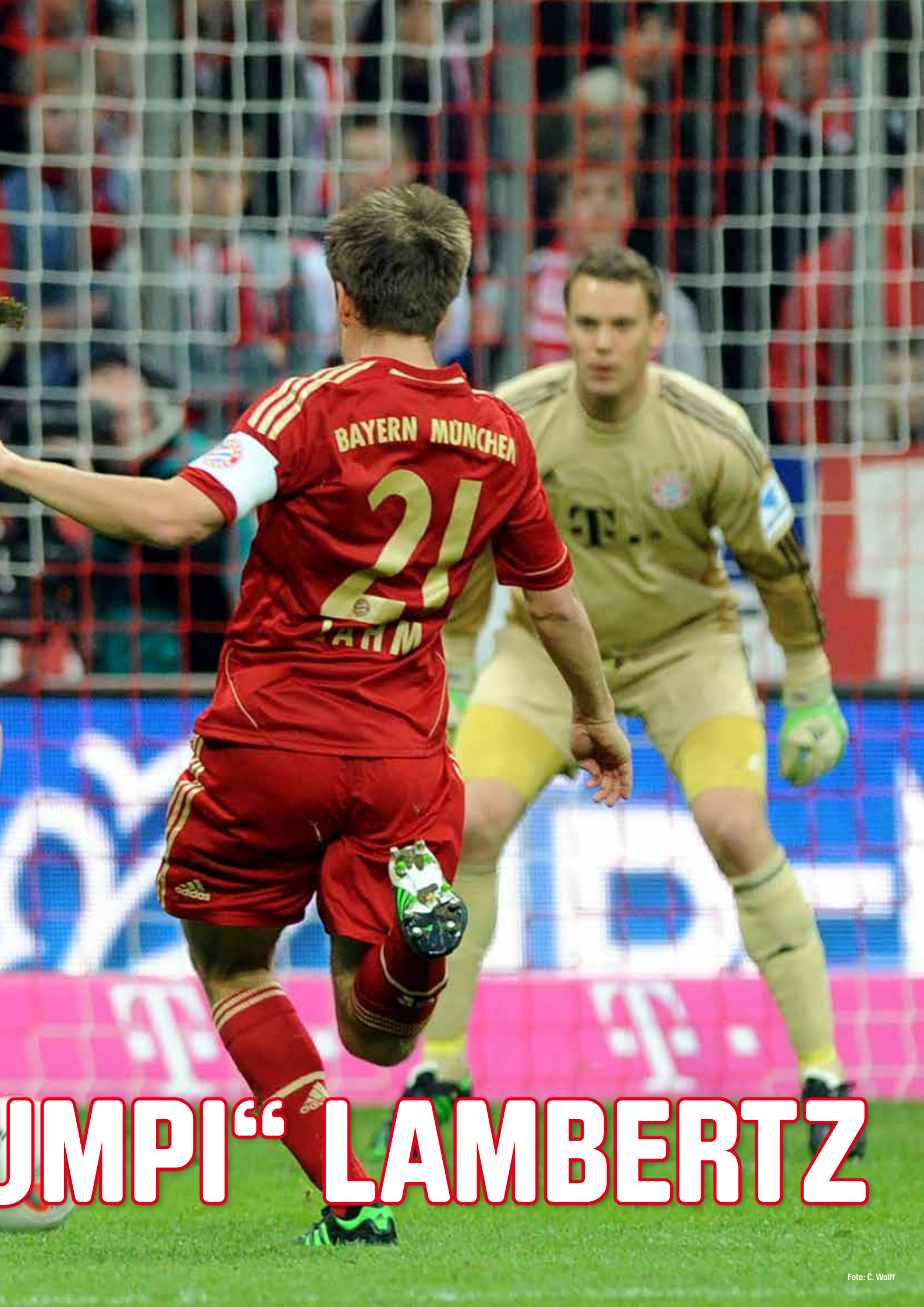
お問い合わせ担当　林洋平
FON 0211 834 2701 | **E-MAIL** yohei.hayashi@nikko-hotel.de

Certified Conference Hotel　Certified Business Hotel　kodexzertifiziert

hotel nikko düsseldorf

Immermannstr. 41 | 40210 Düsseldorf | www.nikko-hotel.de

ANDREAS „LU



UMPI“ LAMBERTZ

Foto: C. Wolff

ミヒャエル・レンジング
1 / MICHAEL RENSING

ミヒャエル・レンジング Michael Rensing

バイエルン・ミュンヘンでチャンピオンズリーグなども経験しているGKミヒャエル・レンジング。ブンデスリーガ1部クラブを渡り歩いてきた男が、自身の契約延長や過去のキャリア、そしてこれからの展望について語ってくれた。

今季末までとなっていた契約を2年延長したわけだけど、その理由は？

後期は非常に難しいものとなってしまったが、それでも今シーズンはとても楽しんでプレー出来た。僕はこのライン川周辺地域ですでに4年以上プレーしているし、ここでの生活もとても気に入っている。もちろんフォルトゥナはとても素晴らしいクラブだし、それらが契約延長に至った理由かな。

フォルトゥナ以外ではこれまでに、バイエルン、1.FCケルン、レヴァークーゼンでプレーしてきたわけだけど、自分のこれまでのキャリアをどう思っている？

僕はこれまでに4つのクラブでプレーしてきた。どのクラブも全く違う特徴があり、とても興味深いものだったし、その間にたくさんのことを経験出来し、たくさんのところに行くことが出来た。その中でも、50km圏内のライン川流域にある3つのクラブ(フォルトゥナ、ケルン、レヴァークーゼン)でプレーをしたのは、偶然だけどとても特別な経験だと思っているよ。

今季について、後期は難しい結果になってしまったけど。

それはとても難しいテーマだね。僕たちも正直なぜ、後半戦がこんなに難しい結果になってしまったのか分からないんだ。前期はとても良かったし、十分な勝ち点を得ることが出来ていた。自分たちの持っている力をしっかりと発揮出来ていたと思う。後半戦が始まって上手くいかない中で、監督の交代があり、徐々に選手自身も自信を失い始めていたところもあったかもしれない。そういう難しい状況下で好転させるのは容易ではなかった。そのためにはハードワークや運も必要だっただろうね。

来季に向けて重要なことは？

とにかく今はしっかりと休養し、気持ちを切り替えて、来季に向けて新しいスタートを切らなくちゃいけないと思っているよ。

フォルトゥナでの君の今後の目標は何かな。

個人的にはもちろんまた1部でプレーしたいと思っているし、クラブも1部に定着していけるようになることを目標としているよ。もちろんそのためには、これからたくさんやらなくちゃいけないことがあるけどね。

君はこれまでに日本人選手とのプレー経験があるよね。

僕はこれまでに3人(槙野智章、鄭大世、大前元紀)の選手とプレーした経験があるが、みんなとても良い性格で、心地良い選手たちだった。日本で素晴らしい教育を受けてきたことが良く分かるし、常に敬意を感じたね。トレーニングでもとても勤勉で、モラルを持っている印象だったよ。それ以外でも、僕が知り合ったことのある日本人は、誰もがそういう性格をしていると思うよ。

日本や日本文化への印象は？

僕はバイエルン時代に何度か日本に行ったことがあるんだ。そのときに日本も日本人もとても心地良いと感じたし、とても好印象を持っているよ。それから日本食の中では寿司は大好きだね。

将来的に日本でプレーする可能性はあるかな？

もちろんまだ先のことは分からないけど、これまでとはまったく別の国でプレーする経験はとても刺激的だよね。それはアメリカかもしれないし、日本かもしれない。いろいろな可能性があると思うけど、日本もその候補の1つには違いないよ。

Michael Rensing

- 背番号: 1
- 生年月日: 1984年05月14日
- 身長: 193cm
- 体重: 90kg
- 足のサイズ: 46cm
- 国籍: ドイツ
- 加入年: 2013年
- 出身地: リンゲン
- 現住地: ケルン

折り紙・書道教室

Origami und Kalligraphie

アウェーでインゴルシュタットとの一戦が行なわれた04月17日(金)の夕方、ESPRITアリーナ内フォルトゥナのショールームでは、デュッセルドルフ日本人クラブの協力のもと、キッズクラブアクションの1つとして、「折り紙・書道教室」が開催された。当日は負傷離脱中だったチャーリーソン・ベンショップも参加し、小さなフォルトゥナキッズたちと、日本文化を楽しんだ。

金曜日の夕方、ESPRITアリーナ内フォルトゥナのショールームに集まったのは、日本人8人、ドイツ人6人のフォルトゥナキッズ会員の子供たち。日本文化を広めるために活動をしているデュッセルドルフ日本クラブ文化部の皆様の協力を得て、彼らに日本の伝統的な遊びである折り紙と、和の心を学ぶ書道教室を提供した。

5月のこどもの日が近いこともあり、まずは新聞紙を使って兜作りに取り掛かった子供たちは、先生の手付きをしっかり目で追いながら、それぞれの兜を完成させた。このイベントに参加した負傷離脱中のベンショップも、子供たちに教わりながら兜を完成させて満面の笑み。最後はみんなで被って記念撮影をし、お土産としてかばんに詰め込んだ。

続いては和の心を学ぶために書道に挑戦した子供たち。多くの日本人の子供たちにとっても、筆で漢字を書くのは初めての経験だったが、ドイツ人の子供にとっては日本語を書くことすら初めて。それでも先生の指示のもと、姿勢を正して止めや払いを意識してトライすると、中にはとても上手に書ける子もいて先生らを驚かせた。ベンショップも筆を握り、「大」や「日」という漢字に挑戦。上手に書き上げた子供たちに並んで、「なかなか上手く出来ただろ？」と、出来上がった自分の作品に満足げだった。

ちなみにこのイベントは、子供たちはもちろん、一緒に参加していた親御さんにも大好評。中には子供に混ざって書道に挑戦するドイツ人パパの姿も。「日本文化に触れたのは初めてだったが、とても楽しいイベントだった。参加してよかった。」と好評価。フォルトゥナはこれからもこういう機会を積極的に作っていくつもりだ。

SEINO DB SCHENKER
Schenker-Seino Co., Ltd.
DB SCHENKER
Delivering solutions.

ECO₂PHANT
Save tons of CO_2.

DBシェンカーは、DB(ドイツ鉄道)グループの輸送・ロジスティクス部門を担う総合 物流企業です。
日本では西濃シェンカー株式会社として１９６４年よりサービスを 提供しております。

サービスのご案内

- 航空貨物
- 海上貨物
- ロジスティクス&サプライチェーンマネジメント
- 倉庫保管業務
- ドイツ及びヨーロッパ内陸上輸送
- 国際プロジェクト
- 通関業務
- 展示会/見本市
- 海外引越

デュッセルドルフ支店・ジャパンディビジョンでは、カスタマーサービス、セールスにつきまして日本人スタッフが対応させていただいております。

DB Schenker is a part of the Transport and Logistics Division of Deutsche Bahn AG and providing integrated logistics services.
Schenker-Seino Co., Ltd has been active in the Japanese market since 1964 and is your leading logistic partner.

Service Range:

- Air Freight
- Ocean Freight
- Contract Logistics/SCM
- Warehouse and Inventory Management
- Land Transportation in Germany and Europe
- Project Services
- Customs Clearance
- Fairs/Events
- Household Removals

お問い合わせ, **Branch Office Duesseldorf, Japan Division**
Wanheimerstrasse 61, 40472 Duesseldorf, Germany, Phone +49 211 9074-346, Fax +49 211 9074-146
japan-division.germany@dbschenker.com, www.dbschenker.com/de, www.schenker-seino.co.jp

東洋紡社がF95育成チームをサポート

Toyobo versorgt Nachwuchsleistungszentrum mit Trainingsmatten.

今シーズンの後半からteamPARTNERとしてフォルトゥナを支援する東洋紡ヨーロッパ社が、未来を担う選手たちのサポートを約束。フォルトゥナユースアカデミーへ、同社が誇る特別な素材で作られたトレーニングマット20枚を提供した。

東洋紡社が提供するこのマットの素材にはブレスエアー®が使われており、通気性、クッション性能、透水性、耐久性、環境・安全、制菌性能付与などに優れた特性を持っている。また容易に水洗いが出来、衛生面にも非常に優れた製品だ。フォルトゥナユースアカデミーを訪れた東洋紡谷口社長は「これでトレーニングを積んで、W杯に出場する選手に成長して欲しい」と激励のコメントと共に、若きフォルトゥナキッカーたちへ、20枚のトレーニングマットを寄贈した。

なお、5月30日(土)にデュッセルドルフで開催される日本デーに出店するフォルトゥナテントでも、同様の素材で作られたフォルトゥナ特別ポータブルクッション100個の販売が決定。日本デー100本限定マフラーと共に、要チェックだ。

YOKOHAMA

www.yokohama.de

横浜ゴム株式会社　月に一度は空気圧の点検を

YOKOHAMA tires – where car manufactures and tuner trust in.

Your YOKOHAMA tire partner in Düsseldorf

Winkler & Fries GmbH
contact partner: Dimitri Nachtigall

Flingerbroich 10
40235 Düsseldorf

Telephone:
0211-61016458

YOKOHAMA –
Technology Partner of

BRABUS

YOKOHAMA –
Official Football Sponsor

KIKAKU | Klosterstraße 38 | 40211 Düsseldorf | T 0211-357853 | *seit 2005 auch im Airport Düsseldorf | Airport Arcaden | T 0211-42169962

SUSHI
KIKAKU
SEIT 1977*

良いときも悪いときも
我々はデュッセルドルファーとして
フォルトゥナを応援し続けます！

チームきかく

offset
cmyk
dtp
proof
schmuckfarben
photoshop
fünf+lack
FSC
illustrator
scannen
bogen
prepress
kreuzbruch
falzen
nuten
einfarbig
indesign
vierfarbig
kleben
quark
klimaneutral
retusche
klammern
ctp
andruck
zickzackfalz
digitaldruck

CLASEN GmbH
ihr printmedienpartner in düsseldorf

Geschäftsführung: Michael Klein & Achim Krause

spielberger weg 66 • 40474 düsseldorf • fon 0211-447290-0 • fax 0211-447290-60 • mail@druckerei-clasen.de
Ihr Nr. 1-Partner für Werbeagenturen + Industriekunden